

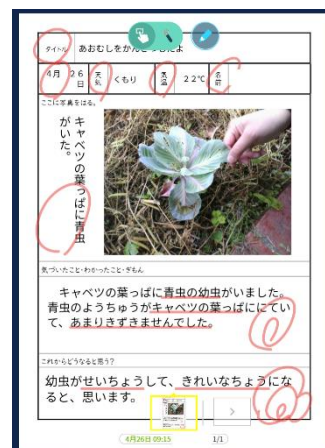
児童一人ひとりに合った方法で活用

【内容】 4年理科 植物や動物の様子を観察・記録する。

【使用アプリ】 ロイロノート

【事例紹介】

季節ごとの植物や動物の様子を観察・記録する際、ロイロノートを使用した。観察カードの様式をロイロノートの資料箱に用意しておく。カードには、タイトルや日付、気温を記録する欄を設けており、いつでもすぐに書きこむことができるようにしてある。



児童は観察した植物・動物を写真に撮って書きこんだり、カード内の欄に様子を文章で記録したりした。活動の途中、「今回は自分の手で絵を描いて記録したい。」「授業時間内に終わらせるためには、自分は鉛筆で書いた方が良さそうだ。」と考えた児童も複数いた。そこで、用意していた観察カードの様式を、書き出し機能でPDF化し、印刷して使用することで、児童の希望にその場ですぐ対応することができた。また、観察後、内容を共有する際には、観察カードをカメラ機能で撮影して提出させることで、紙媒体でもすぐ共有することができた。

ロイロノートを使用したことで、最も観察・記録しやすい方法を児童自身が考え、限られた時間の中でも充実した観察を行うことができた。さらに、共有機能で他の児童の観察カードを見て「次は自分も〇〇について、絵で記録してみたい。」「写真の中に書きこむ方法も良いと思った。」等の感想を持った児童もいた。児童一人ひとりが無理なく活動でき、多様な方法や見方を探求できる授業づくりを続けていきたい。

☆教育委員会主幹講師評☆

まさに、「伝統ある愛媛教育と適切なICT活用のベストミックス」が図れている実践の紹介です。デジタルかアナログかと言った二項対立の発想ではなく、子どもたちの状況に応じて適切に組み合わせる生かすハイブリッド教育により、個別最適な学びへとつながる協働的な学びを実現することができます。今回は、観察カードの様式をロイロノートの資料箱に用意し、観察した結果をいつでも書きこむことができるようにしていましたが、「自分の手で絵を描いて記録したい」「自分は鉛筆で書いた方が良さそうだ」という児童の考えを尊重し、様式を書き出し機能でPDF化し、印刷して使用するなど、その児童にとって最適な学びを準備できた好事例となりました。しかも、観察カードをカメラ機能で撮影して提出させることで、紙媒体でも観察、記録した内容を共有できたことも素晴らしいと思います。これまでの教育実践とICTのベストミックスを図ることで、教師と子どもの力を最大限に伸ばす授業が今後も展開されることを期待しています。